

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成22年3月4日(2010.3.4)

【公開番号】特開2008-168035(P2008-168035A)

【公開日】平成20年7月24日(2008.7.24)

【年通号数】公開・登録公報2008-029

【出願番号】特願2007-5663(P2007-5663)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Z

A 6 3 F 5/04 5 1 2 J

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Q

【手続補正書】

【提出日】平成22年1月14日(2010.1.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技媒体を受け入れる受入部と、
 その受け入れた遊技媒体を検出する検出手段と、
 遊技媒体を仮想遊技媒体として貯留記憶する貯留記憶手段とを備え、
 前記検出手段の検出結果に基づいて前記貯留記憶手段に仮想遊技媒体が貯留記憶される
 遊技機において、
 前記検出手段における遊技媒体を検出した旨の検出結果の累積数を把握する把握手段と
 、
 所定開始タイミングから所定終了タイミングまでの範囲内において前記把握手段により
 把握された前記累積数が予め設定された基準数に達したか否かを判定する判定手段と
 を備えたことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記所定開始タイミングから前記所定終了タイミングまでの規定期間を計測する期間計測手段を備え、

前記判定手段は、前記規定期間内において前記把握手段により把握された前記累積数が
予め設定された基準数に達したか否かを判定するものであり、

前記期間計測手段は、前記規定期間の計測を実行していない場合、前記検出手段の検出
結果が遊技媒体を検出した旨の検出結果となることに基づいて前記規定期間の計測を開始
することを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記貯留記憶手段に貯留記憶された仮想遊技媒体を遊技媒体として排出させるべく操作
される排出操作手段と、

遊技媒体を排出する排出手段と、

前記排出操作手段の操作に基づいて、前記貯留記憶された仮想遊技媒体に対応した数の
遊技媒体を排出するよう前記排出手段を制御する排出制御手段と
を備え、

前記判定手段は、前記検出手段の検出結果が遊技媒体を検出した旨の検出結果となった

後であって、その後の前記排出制御に基づいた前記排出手段による遊技媒体の排出が開始される前に、前記累積数が前記基準数に達したか否かの判定を実行することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

所定の遊技を実行する遊技装置と、

前記所定の遊技を開始させるべく操作される開始操作手段と、

前記所定の遊技を終了させるべく操作される終了操作手段と、

前記検出手段により所定数の遊技媒体が検出され且つ前記開始操作手段が操作されることに基づいて前記所定の遊技を開始し、前記終了操作手段が操作されることに基づいて前記所定の遊技を終了するよう前記遊技装置を制御する遊技制御手段と、

前記所定の遊技が開始される場合に前記受入部における遊技媒体の受入を不許可とし、前記所定の遊技が終了されたことに基づいてその不許可状態を解除する不許可設定手段とを備え、

前記判定手段は、前記不許可状態では、前記累積数が前記基準数に達したか否かの判定を実行しないことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 に記載の遊技機。

【請求項 5】

遊技媒体を受け入れる受入部と、

その受け入れられた遊技媒体を検出する検出手段と、

前記遊技媒体を仮想遊技媒体として貯留記憶する貯留記憶手段とを備え、

前記検出手段の検出結果に基づいて前記貯留記憶手段に仮想遊技媒体が貯留記憶される遊技機において、

前記検出手段の検出結果に基づいて前記貯留記憶手段に貯留記憶される仮想遊技媒体の累積数を把握する把握手段と、

所定開始タイミングから所定終了タイミングまでの範囲内において前記把握手段により把握された前記累積数が予め設定された基準数に達したか否かを判定する判定手段とを備えたことを特徴とする遊技機。